

公益財団法人日本郵趣協会 2019年度事業報告（2019年4月1日～2020年3月31日）

【事業活動の総括】

公益財団法人日本郵趣協会は、2019年度も定款に定める目的の実現を目指して、「郵趣」を広く社会一般に普及すべく公益事業を推進した。

事業計画の「基本となる考え方」で指摘した「社会一般の郵便離れが加速、切手に対する関心を持たない人たちが増加し続けている」傾向は、依然として厳しい状況が続いている。

そうした認識を踏まえ、当協会の事業を発展・継続するためには、運営の核となる「会員力の増強」と「財政の安定」が何より重要であるという視点に立ち、役員、各委員会、各地方本部が情報共有して各事業に取り組んだ。

会員増強協議会は、スタンプショウとJAPEXに合わせ「展覧会来場者促進キャンペーン」及び正会員・維持会員・終身維持会員への移籍促進呼びかけに意欲的に参画し、文書による呼びかけに加え、全国各地の展覧会に役員や委員が直接赴き、新会員の獲得、正会員・維持会員への移籍を働きかけた。普及委員会は「切手オリエンテーション」「楽しいワークショップ」の開催を通じて新しい切手収集家の発掘を図った。

一方、パートナーシップ委員会を中心に、様々な形で協賛企業・団体に協働の輪を広げ、ウイン・ウインの関係を築くとともに財政の安定化に寄与した。

各事業の充実を図る取り組みとして、出版事業では『ビジュアル日本切手専門カタログ』（全6巻）の刊行準備に着手し、カラー化した『郵趣研究』は内容の充実と、購読料の支払方法としてクレジットカード決済を導入して、さらなる読者の拡大を図った。

また特色ある学術調査研究に向けて、郵趣カンファレンス、多様な形式による文化シンポジウムを積極的に開催し、その成果を『郵趣研究』やWEBを通して発信した。

国際文化交流の推進にあたっては、日本フィンランド外交関係樹立100年記念ムーミン切手展、日本オーストリア友好150周年記念及び日本ハンガリー外交関係開設150周年記念ハプスブルグ帝国切手展を、それぞれ各国外交機関認定事業として開催した。国際切手展・アジア国際切手展においては、出品、視察、研究発表に取り組み、海外諸国・地域の郵趣家とのネットワークの形成・強化を図った。

「日本国際切手展2021」については、<JAPAN POST>のブース出展を展開して「日本国際切手展2021」の開催周知を図るとともに、これまでの経験値を踏まえ実施計画の策定をリードしていった。

これらの事業に加えて、流通促進、顕彰、社会貢献・地域支援の各事業、登録支部・団体への助成も積極的に展開した。

こうした事業を進めている最中、全世界を巻き込んだ新型コロナウイルスの感染拡大によって、2020年3月以降の2019年度予定事業を延期・中止せざるを得なかった。すでに2020年4月予定のスタンプショウ2020をはじめとする2020年度上半期の予定事業も殆どが延期・中止となっている。

国家事業である2020年7月の東京オリンピック・パラリンピック大会も2021年に1年延期となった。

当協会としては、郵趣界の責任ある立場として、業界の新型コロナウイルス感染防止対策ガイドラインを策定するとともに、新たな郵趣スタイルの提供、切手商の支援に取り組んでいく所存である。

I 公益目的事業

1. 普及啓発事業

万国郵便連合(UPU)加盟約190の国・地域から発行されている郵便切手類が持つ歴史、美しさ、芸術性といった文化的価値を広く社会一般に認識してもらうため、楽しみながら知ることのできる機会を創出した。また、郵便切手文化を次世代に継承するため、質の高い情報を積極的に提供するとともに幅広い分野で普及啓発活動や情報発信を実施した。

(1) 「全国ミニ切手展」キャンペーン

4月の「切手趣味週間」(郵政記念日の4月20日から1週間)及び10月の「国際文通週間」(万国郵便連合創設記念日の10月9日から1週間)に合わせて、全国の郵便局、学校、博物館など公共施設を中心として、日本及び世界各国の郵便切手類を展示する「全国ミニ切手展」を491カ所(前年度452カ所)で開催した。実施テーマにあたっては、地域特性を活かした内容、タイムリーで話題性の高い内容等を選定し、郵便切手文化の普及啓発に努めた。

(2) 展覧会来場者促進キャンペーン

登録支部・団体及びパートナー・サポート企業・団体との協働・連携の下、全国規模の展覧会への来場者促進キャンペーンを実施した。キャンペーンの取り組みとして、特典情報を掲載したチケット等の作成・配布、集客文化イベントを実施するとともに、広く情報発信を図った。

① スタンプショウ2019来場者促進キャンペーン

実施期間:2019年2月20日(水)～5月1日(水・祝)

キャンペーンはがき:配布枚数270枚、回収枚数:51枚(回収率18.9%)

② JAPEX2019来場者促進キャンペーン

実施期間:2019年9月1日(日)～11月17日(日)

キャンペーンはがき:配布枚数250枚、回収枚数:46枚(同18.4%)

③ スタンプショウ2020来場者促進キャンペーン

実施期間:2020年2月20日(木)～4月19日(日)

※新型コロナウイルスの感染拡大によるスタンプショウ2020の開催延期によりキャンペーン中止

(3) 郵趣入門ガイド

郵便切手類の入手・保存・楽しみ方についてわかりやすく解説した郵趣入門ガイドとして、「郵趣スタートガイド」「郵趣リーフ作成ガイド」「日本切手で始めるスタートガイド」「知って得する切手入手ガイド」(4種類)の2019年版の制作、「やさしい郵趣用語集」の新規制作を行い、全国規模の展覧会、地方本部主催の展覧会等において普及啓発活動を展開した。

(4) 切手オリエンテーション

郵便切手文化を普及するため、誰でもが参加・交流できる切手オリエンテーション「郵趣入門コース」、及び小学生児童を対象とした「楽しい切手ワークショップ」を開催した。実施テーマにあたっては、初心者の人でもわかりやすく、親しみのもてる内容等を選定し、参加プログラムを通して様々なアドバイスを提供した。

① 切手オリエンテーション「郵趣入門コース」

広く一般を対象にして、全6回のカリキュラムで「郵趣入門コース」を実施した。切手オリエンテーションは切手の博物館(豊島区)で開催し、最終回はスタンプショウ2020会場での実施を計画した。

[第1回] 講座テーマ「切手など郵趣品の話」、開催日:6月15日(土)、参加者:4名

[第2回] 講座テーマ「切手など郵趣品の集め方と整理の仕方」、開催日:9月14日(土)、参加者:5名

[第3回] 講座テーマ「マイリーフ作成ガイド」、開催日:11月30日(土)、参加者:8名

[第4回] 講座テーマ「マイリーフ作成実習」、開催日:2020年1月18日(土)、参加者:6名

[第5回] 講座テーマ「アルバムリーフ作成」、開催日:2020年3月21日(土)、参加者:6名

[第6回] 講座テーマ「アルバムリーフ展示と作品鑑賞」、開催日:2020年4月18日(土)

※第6回は新型コロナウイルスの感染拡大によるスタンプショウ2020の開催延期により中止

②楽しい切手ワークショップ

小学生児童を対象にして、郵便切手に関する基礎知識から実際に切手を見て触れてみる体験を通して、郵便切手への興味から趣味へ進める場として学んでもらった。また、好機をとらえて、どこでも切手教室、出張切手ワークショップ等を開催した。

[第1回] 内容:「体験!うちわ作り(切手はり絵)、世界の切手でしおり作り、使用済み切手つかみ取り、ピンセット体験、切手バッジ&切手マグネット作り、開催日:4月29日(月・祝)~5月1日(水・祝)、会場:東京都立産業貿易センター台東館(台東区)、参加者:1,255名。

[第2回] 内容:自由研究の作品鑑賞とぼすくまにお手紙を書こう!、ぼすくまショートアニメ上映会、切手デザイナーのおはなし会「ゆうびんと切手の世界」、ぼすくまと遊ぼう!じゃんけん大会、開催日:8月25日(日)、会場:目白・椿ホール(豊島区)、参加者:242名。

[第3回] 内容:年賀状の書き方、クリスマスカードの書き方、開催日:12月7日(土)、会場:切手の博物館(豊島区)、参加者:5名。

(5) 郵趣図書の普及促進

郵便切手類の歴史及び郵便制度の研究に必要な出版物を広く全国の公立図書館に配備・リクエストすることにより、地域市民の誰でもが郵便切手文化の学習活動に平等な機会が得られることを実現し、教育と文化の発展に寄与した。

①JAPEX2018記念出版『日仏郵便史~日本にフランス郵便局があった時代』:11部

②『テーマ別切手カタログVol.1~Vol.5』:36部

③『日本普通切手専門カタログVol.1~Vol.3』:9部

(6) WEBサイト及びSNSの活用

インターネットによる情報公開の重要性に鑑み、切手発行情報、展覧会、出版物及び文化シンポジウム等に関する最新情報をホームページに適時掲載し、広く社会一般に公開、提供した。また、英語版ホームページを通して海外への情報発信にも努めた。さらに、公式フェイスブック、公式ツイッター等のSNSを活用して多様な情報を発信し、多数の人々が参加する双方向的なコミュニケーションを図った。

ホームページ総セッション:1,140千件(前年対比117%)、ツイッター総インプレッション:60,387千件(同126%)、フェイスブック・いいね!:6,190名(同110%)、ツイッター・フォロワー:59,752(同115%)、LINE有効友だち:644名(同119%)。

(7) 全国郵趣大会

全国各地における郵趣活動の結びつきを図り、郵趣に関する情報並びに課題の共有・活用の推進を図るため、全国郵趣大会を開催した。併せて、郵便切手文化の普及啓発並びに学術調査研究に貢献した功労者の顕彰、文化シンポジウム等の企画イベントを実施するとともに、交流と親睦を深める記念レセプションを開催した。

①全国郵趣大会2019in大阪(第37回)

会期:9月21日(土)・22日(日)、会場:ホテルグランヴィア大阪(大阪市)、参加者:102名(前年度77名)、内容:記念式典、顕彰事業セレモニー、記念講演、セミナー。テーブルバザール:5店5テーブル(同5店5テーブル)、記念パーティ参加者:86名(同71名)。

②全国郵趣大会2020in山口(第38回)[準備作業]

会期:2020年9月12日(土)・13日(日)、会場:湯田温泉ホテルニュータナカ(山口市)、後援:日本郵便(株)中国支社[予定]

②全国郵趣大会2021in横浜(第39回)&創立75周年記念パーティ[準備作業]

会期:2021年8月28日(土)、会場:パシフィコ横浜アネックスホール他(横浜市)、後援:日本郵便(株)[予定]、企画運営:関東地方本部、創立75周年記念事業委員会

(8) 地方本部主催の「切手のつどい」

郵便切手文化に関する情報の発掘、収集を行うとともに、その結びつきを図り、地域市民の資源として共有・活用する基盤作りのため、誰でもが参加・交流できる「切手のつどい」を開催した。

①防府切手のつどい2019春

会期:4月7日(日)、会場:デザインプラザHOFU[山口・防府地域工芸・地場産業振興センター](山口県防府市)、参加者:70名(初開催)、主催:中国・四国地方本部、防府支部

②福山切手のつどい2019

会期:5月5日(日)、会場:まなびの館ローズコム[福山市生涯学習プラザ](広島県福山市)、参加者:80名(前年度70名)、主催:中国・四国地方本部、福山支部

③静岡県郵趣の集い2019in静岡

会期:6月16日(日)・17日(月)、会場:三保園ホテル(静岡市、三保はごろも温泉)、参加者:33名(同32名)、主催:中部地方本部、静岡支部

④岡山切手のつどい2019

会期:6月23日(日)、会場:岡山国際交流センター(岡山市)、参加者:60名(同60名)、主催:中国・四国地方本部、岡山支部

⑤新潟県郵趣の集い2019in長岡(第25回)

会期:6月30日(日)、会場:アトリウム長岡[新潟県教職員互助会館](新潟県長岡市)、参加者:27名(同30名)、主催:中部地方本部、長岡支部

⑥防府切手のつどい2019夏

会期:8月4日(日)、会場:デザインプラザHOFU[山口・防府地域工芸・地場産業振興センター](山口県防府市)、参加者:63名(同81名)、主催:中国・四国地方本部、防府支部

⑦筑後地方切手のつどい2019(第21回)

会期:9月29日(日)、会場:小郡市生涯学習センター(福岡県小郡市)、参加者:53名(同60名)、主催:九州・沖縄地方本部、小郡支部

⑧関西郵趣家のつどい2019・切手だいすき集まれ!

会期:11月23日(土・祝)、会場:エディオンアリーナ大阪[大阪府立体育会館](大阪市)、参加者:275名(同220名)、主催:関西地方本部

⑨防府切手のつどい2019冬

会期:2019年12月1日(日)、会場:デザインプラザHOFU[山口・防府地域工芸・地場産業振興センター](山口県防府市)、参加者:63名(同60名)、主催:中国・四国地方本部、防府支部

⑩北九州切手のつどい2020

会期:2020年2月9日(土)、会場:アジア太平洋インポートマート[AIMビル](福岡県北九州市)、参加者:50名(同70名)、主催:九州・沖縄地方本部、北九州支部、後援:(公財)西日本産業貿易コンベンション協会、日本郵便(株)北九州中央郵便局

⑪広島切手のつどい2020

会期:2020年2月23日(土)、会場:ホテルチューリッヒ東方2001(広島市)、参加者:115名(同120名)、主

催:中国・四国地方本部、広島鯉城支部

2. 展覧会事業

郵便切手類及び郵便制度に関する研究を進展させるとともに、作品を鑑賞することにより豊かな情操を養い郵便切手文化に理解を深めるため、展覧会を開催した。郵便切手文化の独自性と継承性を確立することで出品者及び参観者の高いモチベーションを維持し、文化シンポジウム・イベント等を企画・実施してPR効果を高め、集客の増加を図った。また、積極的にパートナー・サポート企業・団体との協働プロジェクトを推進し、企画プログラムの充実、より多様なニーズに応えた。

(1) 全国規模の展覧会

①世界切手まつり スタンプショウ2019(第43回)

世界各国の郵便切手類や郵便消印に関して楽しみながら知ることのできる展覧会として、企画展示「改元記念 華開く皇室切手展」、「日本・フィンランド外交関係樹立100周年記念 ムーミン切手展」の開催、フリースタイル切手展2019、第20回トピカル切手展の作品を公募した。また、パートナー・サポート企業・団体と協働して、企画イベントの実施、広報の周知を図った。

開催テーマ:「切手とともに 新しい時代へ」、会期:4月29日(月・祝)～5月1日(水・祝)、会場:東京都立産業貿易センター台東館(台東区)、来場者:28,000名(前年度6,000名)、後援:外務省、フィンランド大使館、フィンランド政府観光局、特別協賛:日本郵便(株)、協賛:(株)伊藤園、(株)鼓月、(株)サカモト、(株)虎屋、(株)ながとも、(株)箸勝本店、(株)八丁幸、富士急行(株)、(株)不二家、町田酒造(株)、(株)渡辺護三堂、協力:切手の博物館、郵政博物館、ムーミンワールド、「えいがのおそ松さん」製作委員会。

企画展示:(1)「改元記念 華開く皇室切手展」:皇室切手にちなむ切手原版、原版刷、試刷、献上郵便切手類帳、宮内庁御用達箸資料展示。(2)「日本・フィンランド外交関係樹立100周年記念 ムーミン切手展」:切手コレクション展示6フレーム、ムーミン切手原画資料展示。競争出品:(1)フリースタイル切手展2019:41作品(前年度18作品)、(2)第20回トピカル切手展:29作品86フレーム(同26作品72フレーム)。外国郵政ブース:4カ国(フィンランド、スロベニア、ハンガリー、リヒテンシュタイン)、切手商ブース:29店43ブース(同33店47.5ブース)。

※Beyond2020プログラム認定事業

②世界切手まつり スタンプショウ2020(第44回)[準備作業]

開催テーマ:「何だか面白いぞ、切手!」企画展示:「東京2020オリンピック・パラリンピックとつながる切手展」、「切手にみる食の世界」及び企画イベントの実施計画について運営準備を進めるとともに、協力いただけるパートナー・サポート企業・団体の協賛を募った。

開催テーマ:「なんだかおもしろいぞ、切手!」、会期:2020年4月17日(金)～4月19日(日)、会場:東京都立産業貿易センター台東館(台東区)、後援:駐日エストニア友好協会、東京新聞、特別協賛:日本郵便(株)、協賛:(株)伊藤園、(株)鼓月、(株)サカモト、(株)ながとも、(株)箸勝本店、(株)八丁幸、(株)不二家、町田酒造(株)、協力:切手の博物館、郵政博物館 [いずれも予定]

※東京2020応援プログラム認証事業、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため開催延期

③第54回全国切手展(略称:JAPEX2019)

郵便切手類と郵便制度の研究成果を発表するコンクール形式の展覧会として、企画出品「動植物国宝 図案切手70年」、日本オーストリア友好150周年、日本ハンガリー外交関係開設150周年「ハプスブルク帝国切手展」の開催、チャンピオン・クラス、伝統郵趣、郵便史、ステーションナリー、航空郵趣、テーマティック、ユース、文献、ワンフレーム、オープン、その他の全11クラスの競争作品を公募した。本展覧会において金銀賞以上の賞を受賞した作品には、国際郵趣連盟(FIP)主催の国際切手展への出

品資格が付与された。併せて、公式ガイドブック及び記念出版物を発行して、研究発表の成果を広く一般に公開した。

開催テーマ：「郵趣元年、さあ集めよう！」、会期：11月15日(金)～11月17日(日)、会場：東京都立産業貿易センター台東館(台東区)、入場者：4,300名(同4,200名)、後援：外務省、オーストリア共和国大使館、ハンガリー大使館、オーストリア文化フォーラム、東京新聞、協賛：日本郵便(株)、カルトールセキュリティプリンティング社、(株)伊藤園、(株)鼓月、(株)日本郵趣出版、町田酒造(株)、協力：(公財)通信文化協会、(一社)全日本郵趣連合。

招待出品：7作品10フレーム、企画出品：(1)「動植物国宝図案切手70年」9作品33フレーム、(2)「ハプスブルク帝国切手展」：8作品37フレーム、競争出品：119作品362フレーム(同119作品375フレーム)。外国郵政ブース：4カ国(ハンガリー、スロバキア、ニュージーランド、国連)、切手商ブース：30店39.5ブース(同29店41ブース)。

※Beyond2020プログラム認定事業

④第55回全国切手展(略称：JAPEX2020) [準備作業]

郵便切手類及び郵便制度に関する研究をさらに発展させるため、企画出品「台湾1895-1945」、「新昭和切手75年」、特別出品「ベートーヴェン生誕250周年 音楽切手展」及び文化シンポジウムの実施計画について運営準備を進めた。

開催テーマ：「令和の時代も郵趣と共に」、会期：2020年11月6日(金)～11月8日(日)、会場：東京都立産業貿易センター台東館(台東区)、後援：外務省、ドイツ大使館、(公財)日本台湾交流協会、協賛：日本郵便(株)、協力：(公財)通信文化協会、(一社)全日本郵趣連合、ベートーヴェン・ハウス、ドイツ観光局 [いずれも予定]

(2) 地方本部主催の展覧会

①スタンプショウ高松2019(第10回)

会期：4月27日(土)・28日(日)、会場：市民交流プラザIKODE瓦町(香川県高松市)、来場者：120名(前年度70名)、主催：中国・四国地方本部、高松支部。企画イベント：郵趣相談コーナー、紙つき切手の山崩し。

②スタンプショウ＝ヒロシマ2019(第36回)

会期：5月11日(土)・12日(日)、会場：広島県立産業会館(広島市)、来場者：800名(同800名)、切手商ブース：8店9ブース(同9店10ブース)、主催：中国・四国地方本部、スタンプショウ＝ヒロシマ組織委員会、後援：広島市、広島市教育委員会、日本郵便(株)中国支社、NHK広島放送局、中国放送、広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島、広島エフエム放送、中国新聞社。企画イベント：切手女子コーナー、笑い文字コーナー、切手何でも相談室、鑑定コーナー。

③スタンプショウくだまつ2019

会期：6月15日(土)・6日(日)、会場：スターピアくだまつ(山口県下松市)、来場者：210名(同160名)、主催：中国・四国地方本部、周南支部、後援：日本郵便(株)中国支社、みなと山口合同新聞社。企画イベント：切手面白クイズ、日本・外国切手袋詰めセットのプレゼント。

④第10回楽しい切手展in横浜

会期：6月23日(日)、会場：かながわ県民センター(横浜市)、来場者：300名(同295名)、主催：関東地方本部、横浜支部、湘南郵趣の会、相模原支部、後援：日本郵便(株)南関東支社、神奈川新聞社。企画イベント：体験ワークショップ「切手貼り絵」、さくら日本切手カタログ及び日本・外国使用済み切手プレゼント。

⑤大阪切手まつり2019(第21回)

会期：7月15日(月・祝)、会場：大阪駅前第3ビル(大阪市)、来場者：470名(同480名)、切手商ブース：8店

8ブース(同8店8ブース)、主催:関西地方本部。

⑥スタンプショウふくやま2019(第40回)

会期:8月17日(土)・18日(日)、会場:まなびの館ローズコム[福山市生涯学習プラザ](広島県福山市)、来場者:100名(同100名)、主催:中国・四国地方本部、福山支部、後援:日本郵便(株)中国支社、中国新聞社。企画イベント:切手収集相談コーナー、無料鑑定。

⑦彩PEX2019(第20回)

会期:9月26日(木)~9月29日(日)、会場:アートギャラリー呼友館(埼玉県川越市)、来場者:200名(同200名)、主催:関東地方本部、川越支部、後援:日本郵便(株)川越郵便局、川越市教育委員会、埼玉県郵趣連合。企画展示:東京オリンピック。

⑧スタンプショウかごしま2019(第22回)

会期:10月5日(土)・6日(日)、会場:サンプラザ天文館(鹿児島市)、来場者:220名(同114名)、主催:九州・沖縄地方本部、鹿児島支部、後援:日本郵便(株)九州支社、南日本新聞社、NHK鹿児島放送局、MBC南日本放送、KTS鹿児島テレビ、KKB鹿児島放送、KYT鹿児島読売TV、エフエム鹿児島、鹿児島シティエフエム。企画イベント:収集相談、切手の鑑定、使用済切手のつかみどり。

⑨大阪秋の切手展2019in京セラドーム大阪(第7回)

会期:10月12日(土)・13日(日)、会場:京セラドーム大阪「スカイホール」(大阪市)、来場者:280名(同650名)、切手商ブース:7店7ブース(同6店6ブース)、主催:関西地方本部、後援:日本郵便(株)近畿支社。

⑩スタンプショウはかた2019(第30回)

会期:10月19日(土)・20日(日)、会場:TKPカンファレンスシティ博多(福岡市)、来場者:240名(同180名)、主催:九州・沖縄地方本部、福岡支部、スタンプショウはかた2019実行委員会、後援:日本郵便(株)九州支社、福岡市教育委員会、NHK福岡放送局、RKB毎日放送、九州朝日放送、FBS福岡放送局、TVQ九州放送、テレビ西日本、読売新聞社、朝日新聞社、西日本新聞社、毎日新聞社。企画イベント:収集相談。

⑪中部スタンプショウ2019in浜松(第18回)

会期:10月26日(土)・27日(日)、会場:醍醐荘(愛知県磐田市)、来場者:200名(同350名)、主催:中部地方本部、浜松支部、後援:日本郵便(株)磐田郵便局、記念講演会:「自動取揃押印機の開発」。

⑫関西スタンプショウ2020(第33回)

会期:2020年3月7日(土)・8日(日)、会場:大阪駅前第三ビル(大阪市)、主催:関西地方本部、後援:日本郵便(株)近畿支社、(一財)切手文化博物館、企画イベント:さくら日本切手カタログのプレゼント。

※東京2020応援プログラム認証事業、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため開催延期

(3) 展覧会への出品促進

競争作品を公募するコンクール形式の展覧会への出品を促進するため、あらゆる機会を活用した周知活動を行うとともに、出品公募前に出品物の添削・助言等を行い、審査結果発表後に出品者への助言の機会を設けた。

①フリースタイル切手展、トピカル切手展の応募要項を作成し、出品希望者への配布及びホームページにおいて公開した。

②「JAPEX2019ルールブック」(JAPEX2019開催概要、JAPEX2019特別規則、JAPEX一般規則、JAPEX審査基準、JAPEX出品に関するQ&A等)を作成し、出品希望者への配布及びホームページにおいて公開した。

③新規出品者の育成及び出品コンサルティングの実施

当協会事務局での対面及び通信添削において、作品コンサルティングを実施した。JAPEX新規出品者:11

名(前年度6名)、出品コンサルティング利用者:8名(同10名)。

④審査員と出品者との対話(ジュリー・アプレイザル)の実施

実施日:11月17日(日)、会場:第54回全国切手展JAPEX2019〔東京都立産業貿易センター台東館(台東区)〕、参加者:25名(同22名)。

⑤応募作品のデータベース化

直近10年間のJAPEX出品者の入賞記録をデータベース化し、全国切手展の審査において活用した。

(4) 公認審査員制度と審査員の育成

コンクール形式の展覧会において適正な判定と円滑な運営を行うため、公認審査員制度を活用して国内審査員の育成を図った。また、10月26日(土)に国際切手展郵趣セミナー(国際切手展CHINA2019、アジア国際切手展SINGPEX2019視察報告等)を開催し、世界の展覧会の潮流と審査の状況を有資格者と共有し、審査技術の向上と平準化を図った。

3. 出版事業

郵便切手類及び郵便制度に関する情報を社会一般に広く供するため、万国郵便連合(UPU)加盟約190の国・地域から発行されている郵便切手類に関する内容、意匠、データ並びに郵便制度に関する研究を基にして、各種出版物を発行した。

(1) 書籍及び研究報告書

- ①郵趣モノグラフ28『戦後ステーションナリーは使用済みが面白い』(9月10日刊行)
- ②郵趣モノグラフ29『重量便使用例の分類と収集』(11月10日刊行)
- ③『第54回全国切手展JAPEX2019 記録作品集・PDF版』(非売品、12月20日刊行)
- ④JAPEX2019記念出版『第1次動植物国宝図案切手』(2020年3月25日刊行)
- ⑤創立75周年記念事業『戦後の日本郵趣史(仮称)』[刊行準備作業]

(2) 定期刊行物

- ①切手を楽しむ雑誌『郵趣(YUSHU)』月刊/12回発行
- ②週刊速報紙『郵趣ウィークリー』週刊/50回発行
- ③郵趣専門誌『郵趣研究(The Philatelic Studies)』隔月刊/6回発行
- ④WEB版『世界新切手ニュース』月刊/12回配信
- ⑤WEB版『郵趣ウィークリー』週刊/50回配信
- ⑥WEB版『郵趣研究』隔月刊/6回配信

(3) 切手カタログ

- ①『さくら日本切手カタログ2020』(4月20日刊行)
- ②『改訂版旧中国切手カタログ』(6月25日刊行)
- ③『テーマ別日本切手カタログVol.5 動物編』(7月25日刊行)
- ④『新中国切手カタログ2020』(12月25日刊行)
- ⑤『ビジュアル日本切手専門カタログ1876-1914(仮称)』[刊行準備作業]

4. 学術調査研究事業

郵便切手類及び郵便制度に関する情報(データベース)などを基に学術調査研究を行い、その研究成果を広く社会一般に還元するため、活動事例紹介、研究発表会<ミニペックス>、郵趣カンファレンス、文化シンポジウム等を開催し、広く一般に知的情報の公開・周知を図った。

(1) 研究会

専門分野別に研究会を設置して学術調査研究の充実・発展を図るとともに、未分野の研究会設置を促進し、新たに医学切手研究会(4月1日付)を発足した。また、全国規模の展覧会においては、誰でもが参加できるブース形式またはディスカッション形式により、各研究会の活動事例紹介を実施した。

①世界切手まつり スタンプショー2019

会期:4月29日(月・祝)～5月1日(水・祝)、ブース:13研究会、切手の集い:5研究会、延べ参加者:75名。

②第54回全国切手展 JAPEX2019

会期:11月15日(金)～11月17日(日)、ブース:14研究会、切手の集い:4研究会、延べ参加者:38名。

(2) 研究発表会(ミニペックス)

研究会による学術調査研究成果の発表会を「ミニペックス」と称して、切手の博物館(豊島区)において広く一般に公開した。また研究発表会では、研究作品の背景と郵趣の本質を分かりやすく説明する作品解説等を実施した。

①第34回昆虫切手展～あなたが選ぶ「世界一美しい蝶」～

会期:6月8日(土)・9日(日)、来場者:270名(前回240名)、研究発表:昆虫切手研究会

②イギリス切手研究会切手展2019

会期:6月15日(土)・16日(日)、来場者:260名(同300名)、研究発表:イギリス切手研究会

③第17回絵画切手展

会期:6月22日(土)・23日(日)、来場者:340名(同240名)、研究発表:絵画切手研究会

④アメリカ切手展2019<america'19>

会期:7月3日(水)～7日(日)、来場者:320名(同250名)、研究発表:アメリカ郵趣研究会

⑤第10回世界の植物切手展

会期:7月12日(金)～7月14日(日)、来場者:260名(同360名)、研究発表:植物切手研究会

⑥JPS航空郵趣研究会展2019 AEROPEX2019～飛行郵便試行100年記念～

会期:9月28日(土)・29日(日)、来場者:270名(同250名)、研究発表:航空郵趣研究会

⑦第16回震災切手と震災郵趣展

会期:10月4日(金)～10月6日(日)、来場者:150名(同120名)、研究発表:震災郵趣研究会

⑧ウィーン国立歌劇場150年音楽切手展～日墺友好150周年記念～

会期:10月12日(土)・13日(日)、来場者:70名(同250名)、研究発表:音楽切手研究会

※台風19号の影響による鉄道各社の計画運休のため10月12日は開催中止

⑨第19回ドイツ切手展 Germania2019～オーストリア切手分科会紹介～

会期:11月22日(金)～11月24日(日)、来場者:220名、研究発表:ドイツ切手研究会

⑩第11回テーマティック研究会切手展

会期:2020年1月11日(土)・12日(日)、来場者:270名(同250名)、研究発表:テーマティック研究会

※以下の研究発表会については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

⑪パソコン郵趣切手展2019

会期:2020年3月7日(土)・8日(日)、研究発表:パソコン郵趣研究会

⑫菊・田沢MINIPEX2020

会期:2020年3月13日(金)～3月15日(日)、研究発表:菊・田沢切手研究会

⑬第12回聴覚障害者切手研究会切手展

会期:2020年3月20日(金・祝)～3月22日(日)、研究発表:聴覚障害者切手研究会

(3) 郵趣カンファレンス

各専門分野の先進学術事例の調査研究を進めるとともに、この知見を相互に有効活用するため郵趣カン

ファレンスを開催した。また郵趣カンファレンスにおける発表・意見交換会を踏まえて、その学術事例を出版物またはホームページを通して発表・公開した。

①「絵画切手収集の楽しみ方～郵趣材料いろいろ、リーフサイズ、シノプシス作成～」

会期:6月23日(日)、研究発表:江村清氏(絵画切手研究会)、聴講者:13名、会場:切手の博物館(豊島区)

②「日本国際切手展2021 公開カンファレンス」

会期:11月17日(日)、研究発表:榎沢祐一氏(国際委員長)、聴講者:17名、会場:東京都立産業貿易センター台東館(台東区)

③「ドイツ切手」&「オーストリア切手」

会期:11月24日(日)、研究発表:加藤久勝氏、幸田昌弘氏(以上、ドイツ切手研究会)、聴講者:13名、会場:切手の博物館(豊島区)

④「青島のドイツ・日本・中国による郵便史1898-1949 郵便印・通信路の研究」

会期:2020年3月14日(土)、研究発表:福田真三氏(菊・田沢切手研究会)、会場:切手の博物館(豊島区)

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止

(4) 文化シンポジウム

講演会、パネルディスカッション、トークショー等の形式により文化シンポジウムを開催し、知見の交換を図るとともに多くの人に参加できる機会を創出した。

①会期:4月29日(月・祝)～5月1日(水・祝)、会場:スタンプショウ2019/東京都立産業貿易センター台東館(台東区)。

A 研究発表「絵画切手の楽しみ方」、プレゼンター:江村清氏、市川敏之氏(以上、絵画切手研究会)、聴講者:32名。

B. 講演会「小型印・風景印等の楽しみ方～今さら聞けない郵便の基礎知識～」、講師:富澤昇吉氏、聴講者:44名。

C. 講演会「電子化された『郵趣研究』と『郵趣ウィークリー』の活用」、講師:横山裕三氏、聴講者:15名。

D. 講演会「平成シリーズ・普通切手発行の裏話」、講師:森田基治氏、濱谷彰彦氏、聴講者:36名。

E. 講演会「切手もの知り劇場～マニアも知らなかった話～」、講師:田辺龍太氏、聴講者:21名。

F. トークショー「平成最終日の風景印トークショー～第7回FKD48総選挙応援演説～」、ゲスト:古沢保氏、聴講者:73名。

G. トークショー「ムーミンと切手の不思議な関係」、ゲスト:木村正裕氏、聴講者:53名。

H トークショー「日本で発行されたムーミン切手」、ゲスト:中丸ひとみ氏、木村正裕氏、聴講者:64名。

I. トークショー「皇室切手秘話～平成から新たな時代へ～」、ゲスト:貝淵純子氏、井上卓朗氏、聴講者:44名。

②会期:9月21日(土)、会場:全国郵趣大会2019in大阪/ホテルグランヴィア大阪(大阪市)。

A. パネルディスカッション「戦後ステーションナリーの楽しみ方」、パネラー:天野安治氏、山口充氏、中世古誠氏、聴講者50名

B. セミナー「エンタニア・消印を“対(つい)”で集める」、講師:行徳国宏氏、聴講者:25名。

C. セミナー「目からウロコの郵趣雑学」、講師:山本勉氏、聴講者:35名。

D. セミナー「船便[横浜～神戸]を捜そう」、講師:佐々木義郎氏、聴講者:20名。

E. セミナー「バラのきた道 その繁栄と足跡」、講師:山田精一氏、聴講者:20名。

③会期:11月15日(金)～11月17日(日)、会場:第54回全国切手展JAPEX2019/東京都立産業貿易センター台東館(台東区)。

A. 研究発表「若き日の野口英世～東京時代・長浜検疫所時代を中心にして～」、プレゼンター:中村澄夫氏(医

学切手研究会)、聴講者:20名。

B. 講演会「重量便一使用例の分類と収集」、講師:中世古誠氏、聴講者:26名。

C. 講演会「郵便史ゼネラル収集—私の思い出の作品たち」、講師:柏木清氏、聴講者:30名。

D. 講演会「田沢切手の定常変種に関する最新情報」、講師:山口充氏、聴講者:34名。

E. パネルディスカッション「動植物国宝図案切手」、パネリスト:赤塚東司雄氏、水谷行秀氏、山路晴名氏、MC:玉木淳一氏、聴講者:25名。

F. トークショー「61年かけて完結! 東海道五十三次マッチング風景印の旅」、ゲスト:古沢保氏、聴講者:80名。

G. トークショー「東海道五十三次・切手発行完結! +江戸のうんちく道中を語る」、ゲスト:稲垣進一氏、玉木明氏、聴講者:58名。

H. トークショー「ハプスブルク帝国の歴史と切手」、ゲスト:山田泰子氏、MC:倉地伸枝氏、聴講者:40名。

④会期:12月22日(日)、会場:切手の博物館のクリスマス/切手の博物館(豊島区)。

A. トークショー「切手デザイナー スペシャルトーク」、ゲスト:楠田祐士氏、聴講者:30名。

(5) 展覧会助成

郵趣分野における研究の発展並びに普及啓発の観点から、社会的要請及び将来の発展が期待できる研究課題の発表・公開に対して、展覧会助成を実施した。[会場はいずれも切手の博物館]

① 第3回映画・演劇人の手紙展

会期:4月19日(金)~4月21日(日)、来場者:440名、主催:玉木淳一氏、

②「魚木式郵趣」展

会期:5月10日(金)~5月12日(日)、来場者:120名、主催:魚木五夫氏

③第4回切手フェスタ

会期:8月30日(金)~9月1日(日)、来場者:350名、主催:切手フェスタ実行委員会

④東京風景印歴史散歩100回記念~風景印の小部屋とその隣人たち~

会期:11月29日(金)~12月1日(日)、来場者:720名、主催:風景印散歩の会

⑤第15回中国郵票展

会期:2020年1月25日(土)・26日(日)、来場者:180名、主催:福井和雄氏

5. 国際文化交流事業

日本と海外諸国・地域との文化活動の交流を図り、友好関係と相互理解を増進するため、自国の歴史・文化を伝える「小さな外交官」と形容される郵便切手類を通して、国際文化交流を推進した。

(1) 各国外交機関及び各国郵政機関との協働による国際文化交流

各国外交機関による周年記念事業認定のもと、文化シンポジウム・イベント等を企画・実施してPR効果を高め、国際文化交流の活性化に努めた。

①日本フィンランド外交関係樹立100周年記念事業[認定事業]

名称:日本フィンランド外交関係樹立100周年ムーミン切手展 (Moomin Stamp Exhibition)、会期:4月29日(月・祝)~5月1日(水・祝)、会場:東京都立産業貿易センター台東館(台東区)、後援:外務省、フィンランド大使館、フィンランド政府観光局、協賛:日本郵便(株)、協力:ムーミンワールド。切手コレクション展示6フレーム、ムーミン切手原画資料の展示。

②日本オーストリア友好150周年記念事業及び日本ハンガリー外交関係開設150周年記念事業[いずれも認定事業]

名称:ハプスブルク帝国切手展 (Habsburg Monarchy Stamp Exhibition)、会期:11月15日(金)~11月

17日(日)、会場:東京都立産業貿易センター台東館(台東区)、後援:外務省、オーストリア共和国大使館、ハンガリー大使館、オーストリア文化フォーラム、協賛:日本郵便(株)。

(2) 国際切手展における国際文化交流

国際切手展の視察、国際郵趣セミナー等の参加を通じて、海外諸国・地域の郵趣家とのネットワークの形成・強化を図るとともに、国際文化交流を契機とした新たな郵便切手文化の研究を推進した。

① 国際切手展CHINA2019への文献出品、視察、研究発表

「日本普通切手専門カタログVo.1～Vol.3」を出品したが、不受理扱いとなった。また、国際切手展視察に1名を派遣し、視察報告を出版物に掲載するとともに、国際切手展郵趣セミナーを実施した。

会期:6月11日(火)～17日(月)、会場:湖北武漢国際博覧会センター(中国・武漢)

② アジア国際切手展SINGPEX2019への文献出品、視察、研究発表

「日本普通切手専門カタログVo.1～Vol.3」を出品し、金賞を受賞した。また、国際切手展視察に1名を派遣し、視察報告を出版物に掲載するとともに、国際切手展郵趣セミナーを実施した。

会期:7月31日(水)～8月4日(日)、会場:サンテック・シンガポール国際会議展示場(シンガポール)

② アジア国際切手展NZ2020への文献出品、視察、研究発表

「日本普通切手専門カタログVo.1～Vol.3」を出品したが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止となった。

会期:2020年3月19日(木)～3月22日(日)、会場:エラズリー・イベントセンター(ニュージーランド・オークランド)

(3) 日本国際切手展2021

郵便切手類と郵便制度の世界的先進学術事例を広く公開するとともに、日本の郵便制度150周年を契機に郵便切手文化のより一層の普及・拡大を図るため、日本国際切手展2021を開催する。その成功に向けて、国際切手展における<JAPAN POST>(日本郵便)のブース出展を通して日本国際切手展2021の周知を図るとともに、各主催団体と連携して実施計画の策定・推進に努めた。

名称:日本国際切手展2021 (JAPAN WORLD STAMP CHAMPIONSHIP EXHIBITION 2021)

開催テーマ:「郵便150年 新たな可能性へ。」、会期:2021年8月25日(水)～8月30日(月)、会場:パシフィコ横浜/展示ホールB・C(横浜市)、主催:日本郵便(株)、(公財)通信文化協会、(一社)全日本郵趣連合との共催。

① 国際切手展CHINA2019へのブース出展

<JAPAN POST>(日本郵便)ブースの出展・運営を行い、郵便切手類の展示・紹介、新切手リーフレットの無償配布及び記念押印サービスを実施した。会期:6月11日(火)～6月17日(月)、会場:湖北武漢国際博覧会センター(中国・武漢)

② アジア国際切手展SINGPEX2019へのブース出展

<JAPAN POST>(日本郵便)ブースの出展・運営を行い、日本国際切手展2021の周知、日本の郵便切手類の展示・紹介、新切手リーフレットの無償配布及び記念押印サービスを実施した。

会期:7月31日(水)～8月4日(日)、会場:サンテック・シンガポール国際会議展示場(シンガポール)

③ アジア国際切手展NZ2020へのブース出展

<JAPAN POST>(日本郵便)ブースの出展・運営を行い、日本国際切手展2021の周知、日本の郵便切手類の展示・紹介、新切手リーフレットの無償配布及び記念押印サービスを実施する準備を進めたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため開催中止となった。

会期:2020年3月19日(木)～3月22日(日)、会場:エラズリー・イベントセンター(ニュージーランド・オークランド)

(4) 東京2020オリンピック・パラリンピックとつながる切手展

東京2020オリンピック・パラリンピック大会は、スポーツの祭典だけでなく文化の祭典でもある。東京2020大会を通じて郵便切手類が持つ文化的価値を広く社会一般に認識してもらうため、「東京2020オリンピック・パラリンピックとつながる切手展」を東京都台東区(4月)、横浜市(5月)、広島市(6月)、大阪市(7月)の4カ所で開催する企画・運営準備を進めた。

※東京2020応援プログラム[認証事業]、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止

6. 流通促進事業

文化的及び歴史的資料として貴重な国民的財産である郵便切手類を拡散・劣化させることなく、次世代へ着実に継承するため、流通促進事業を実施した。

(1) 流通促進の基盤整備

郵便切手類の偽造品・変造品の不正流通を防止するためにさまざまな対策をとり、郵便事業に対する信頼を確保するため、偽造品・変造品に関する情報をデータベースとして蓄積するとともに、郵便切手文化の保全と健全なる市場の形成を図り、広く利用者の便宜性と拡大に努めた。

(2) 公開入札制度<JPSオークション>

公正かつ厳格なマネジメントによる公開入札制度を通して、郵便切手文化を広く一般社会に敷衍するとともに、郵便切手類への不当な投機的流通を防止し、郵便切手類の価値の公正化を図った。

①第521回 開催日:4月30日(火・休)、会場:東京都立産業貿易センター台東館(台東区)

②第522回 開催日:7月6日(土)、会場:切手の博物館(豊島区)

③第523回 締切日:9月17日(火)、メールオークション

④第524回 開催日:11月16日(土)、会場:東京都立産業貿易センター台東館(台東区)

⑤第525回 開催日:2020年1月18日(土)、会場:切手の博物館(豊島区)

⑥第526回 締切日:2020年3月10日(火)、メールオークション

出品総数:8,295ロット(前年度7,766ロット)、落札総高:62,247千円(同54,052千円)。

※第526回の下見会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止とし、公開入札を行わないメールオークションに開催変更した。

7. 顕彰事業

日本及び世界各国の郵便切手類及び郵便制度に関して、その普及啓発並びに調査研究に貢献した功労者(個人及び団体)を顕彰し、郵便切手文化の振興と水準高度化を図った。

(1) 選考委員会

各授賞要項に基づき各選考委員会を設置するとともに、選考基準に基づき授賞者を選考した。

①第40回中島健蔵・水原明窗記念賞

中島健蔵・水原明窗記念賞選考委員会(委員長:福井和雄、委員:稲葉良一、魚木五夫、大沼幸雄、長田伊玖雄、落合宙一、佐々木義郎、村岡安廣)を設置し、4月30日(火・祝)に選考委員会を開催し、受賞者に柏木清氏、山口充氏を決定した。

②国際大賞(トレーシー・ウッドワード記念賞)

顕彰選考委員会(委員長:福井和雄、委員:池原郁夫、落合宙一、川上弘、正田幸弘)を設置し、6月1日(土)に選考委員会を開催し、該当者なしと決定した。

③第39回郵趣活動賞(個人部門、団体部門)

同上の選考委員会を設置し、次の通り決定した。

A. 個人部門:行徳宏氏、多田由一氏、本間秀雄氏の3名

B. 団体部門:親郵会

④第39回郵趣文献賞

同上の選考委員会を設置し、受賞文献に次の2文献を決定した。

「郵便の歴史—飛脚から郵政民営化までの歩みを語る—」(井上卓朗、星名定雄著)、「臺灣清代・日治時期 舊地名郵戳考(1888-1945)」(黄元明著)

⑤第36回小倉謙賞

第54回全国切手展JAPEX2019審査委員会の審査員で選考委員会(委員長:石川勝己)を設置し、11月16日(土)に選考委員会を開催し、受賞者に中尾謹三氏「宇宙開発の進化」を決定した。

⑥第34回住野正顕賞

第54回全国切手展JAPEX2019審査委員会の審査員で選考委員会(委員長:石川勝己)を設置し、11月16日(土)に選考委員会を開催し、受賞者に田畑裕司氏「新中国 文化大革命下の記念・特殊切手1967-70」を決定した。

⑦登録支部・団体50周年特別表彰

特別表彰の選考にあたり、7月27日(土)に事業執行会議(議長:池原郁夫)を開催し、2019年度の表彰に静岡支部、長岡支部、福岡支部の5団体を決定した。

(2) 授賞式

表彰は授賞式をもって行うとともに、選考結果は『郵趣』及びホームページにおいて公開した。

①第40回中島健蔵・水原明窗記念賞は、第54回全国切手展JAPEX2019において受賞者を発表するとともに、授賞式を公開で実施した。あわせて受賞記念講演を実施した。

②第39回郵趣活動賞(個人部門、団体部門)及び第39回郵趣文献賞は、全国郵趣大会2019in大阪において受賞者を発表するとともに、授賞式を公開で実施した。

③第36回小倉謙賞及び第34回住野正顕賞は、第54回全国切手展JAPEX2019において受賞者を発表するとともに、授賞式を公開で実施した。

④登録支部・団体50周年特別表彰は、全国郵趣大会2019in大阪において受賞者を発表するとともに、授賞式を公開で実施した。

8. 社会貢献・地域支援事業

郵便切手文化の発展向上に資するとともに「新しい公共」の担い手としての役割を推進するため、パートナー・サポート企業・団体との協働により広く社会一般に貢献する事業を行った。また、地域市民が行う郵便切手文化の公益的活動への助成や情報・ネットワーク支援を図るとともに、文化活動を担うボランティアの醸成と創造性豊かな人材育成に取り組んだ。

(1) 「手紙を書こう!プロジェクト2019」

あらゆる世代において郵便切手文化に触れ合う機会を創出し、手紙コミュニケーションの楽しさを体験してもらうとともに、生き生きとした心豊かな社会の実現を目指していくため、日本郵便(株)をはじめとした多様なパートナー・サポート企業・団体の協賛を得て実施した。

①ゆうびんde自由研究・作品コンテスト2019(第8回)

郵便切手類の歴史や文化を身近に感じ親んでもらうため、小学生児童を対象にして、郵便に必要な切手、消印を題材にした自由研究作品(切手部門、風景印部門)を公募した。文化・歴史・自然に関する知識・研究を深めることで郵便切手文化の普及を図るとともに、夏休みの自由課題として取り組んでもらえるように教育機関等への周知に努めた。

発表会:8月23日(金)~8月25日(日)、会場:目白・椿ホール(豊島区)、後援:文部科学省、豊島区教育委

員会、(公社)日本PTA全国協議会、読売KODOMO新聞、日本教育新聞社、協賛:日本郵便(株)、(一財)水原フィラテリー財団、(株)ジャパン・ビバレッジ東京、(株)デサント、富士急行(株)、リソー教育グループ。
応募作品:切手部門:27作品(前年度27作品)、風景印部門:180作品(同159作品)、優れた作品にグランプリ及び特別賞(6協賛企業・団体)を授与した。会場の目白 椿ホール(豊島区)で、作品発表会の会期中毎日、「ぼすくまにお手紙を書こう!」のワークショップを開催するとともに、8月25日(日)の表彰式当日は、表彰式に先立ち、切手デザイナーのおはなし会「ぼすくまのひみつ」、じゃんけん大会を開催し、多くの児童・保護者が来場した。

※Beyond2020プログラム[認定事業]

②タイムカプセル郵便

手紙コミュニケーションの楽しさを体験してもらうとともに、その時代の文化を未来にレガシーとして継承するため、メッセージとなる記録を手紙というツールを通じて、個人の利用に加え、企業や行政の記念事業として利用拡大を図るとともに、日本郵便(株)をはじめとしたパートナー・サポート企業・団体と協働して普及を図った。

募集期間:4月1日(月)~2020年3月31日(火)[通年]、引受通数:10,052通(同10,438通)、協賛:日本郵便(株)、(一財)水原フィラテリー財団、リソー教育グループ。

※東京2020応援プログラム認証事業、日本郵政(株)の商標登録の使用許諾事業

③Otegamiフリマ

フリーマーケット形式のイベントとして広く郵便切手雑貨関連のブース出展を募り、郵便切手文化の魅力を見つけてもらうため、お手紙コーナー及びデコレーションポスの設置、郵便局臨時出張所による記念押印サービス等を実施した。

A. Otegamiフリマ2019 SUMMERコレクション 会期:5月17日(金)・18日(土)、来場者:600名。

B. Otegamiフリマ2019 AUTUMNコレクション 会期:8月23日(金)・24日(土)、来場者:600名。

※ゆうびんde自由研究・作品コンテスト2019とのジョイント開催

C. Otegamiフリマ2019 WINTERコレクション 会期:11月16日(土)・17日(日)、来場者:600名。

D. Otegamiフリマ2020 SPRINGコレクション 会期:2020年2月22日(土)・23日(日)、来場者:600名。

会場:A. C. D. は切手の博物館(豊島区)、B. は目白・椿ホール(豊島区)、共催:(一財)水原フィラテリー財団、協賛:日本郵便(株)、リソー教育グループ。

④手紙ワークショップ

手紙が本来持っている「想いを伝える力」や新たな手紙コミュニケーションの魅力を見つけてもらうため、手紙を書いて、宛名を書き、切手を貼り、郵便局臨時出張所で小型印等の記念押印をしてもらい、郵便ポストに投函するという一連の流れを体験してもらった。

A. 贈って楽しい、もらって嬉しい小型印・風景印

会期:4月29日(月・祝)~5月1日(水・祝)、会場:東京都立産業貿易センター台東館(台東区)、参加者:20,000名。

B. ぼすくまにお手紙を書こう! [ぼすくまからのお礼のポストカードの実施]

会期:8月23日(金)~8月25日(日)、会場:目白・椿ホール(豊島区)、参加者:80名。

C. クリスマスdeお手紙[切手デザイナーによるオリジナル・クリスマスカードの制作・頒布]

会期:12月6日(金)~12月25日(水)、会場:切手の博物館(豊島区)、参加者:1,000名。

D. バレンタインdeお手紙

会期:2020年2月1日(土)~2月14日(金)、会場:切手の博物館(豊島区)

協賛:日本郵便(株)、(一財)水原フィラテリー財団、リソー教育グループ、参加者:600名。

(2) 天皇陛下御即位祝賀パレード展

天皇陛下御即位祝賀パレードの実施に合わせて、広く社会一般に貢献する公共イベントとして開催し、特別展示:「天皇陛下御即位記念 皇室切手展」、天皇陛下御即位記念切手の切手をデザインされた貝淵純子氏(日本郵便(株)切手デザイナー)のサイン会、「天皇陛下御即位祝賀パレード(祝賀御列の儀)」パブリックビューイング(NHK放送地上波)、天皇陛下御即位祝賀パレードを巡る風景印(宮内庁内郵便局を含む全4局)の押印サービスなどを実施した。

会期:11月10日(日)[当初予定の10月22日(火・祝)から日程変更]、会場:目白・椿ホール(豊島区)[当初予定の東京都立産業貿易センター台東館(台東区)から会場変更]、来場者:3,000名。

(3) 登録支部・団体制度と地域文化活動の支援

郵便切手文化の普及の担い手である市民文化活動の振興を図るため、登録支部・団体制度を活用して連携・強化を図り、各地域における自主的活動や特性を發揮しながら効果的な事業が推進できるように支援した。

①地域が取り組む展覧会及び切手教室への助成

登録支部・団体が開催した延べ30回の展覧会及び2回の切手教室への助成を行った。

②郵便切手文化活動への広報協力

『郵趣(YUSHU)』及び協会ホームページにおいて、地域が取り組む郵便切手文化活動の広報に努めた。

③地域文化活動の活性化及び企画プログラムの提供

A. 切手ワークショップ「切手であそぼう」、開催日:7月23日(火)、会場:世田谷区給田小学校(世田谷区)

B. 特別講話「手紙の素晴らしさと魅力」、開催日:8月24日(土)、会場:目白・椿ホール(豊島区)、対象:品川女子学院中等部2年D組

(4) パートナー企業・団体との協働プロジェクト

企業・団体と当協会が互いの特性や持てる資源を活かし合って、その取り組む課題やプロセスを共有し、協働して郵便切手文化に関する新たなニーズに応えた。

①日本郵便(株)切手デザイナーとの手紙振興プロジェクト

A. 切手デザイナー・トークショー&サイン会

(a)テーマ:「日本で発行されたムーミン切手」、ゲスト:中丸ひとみ氏。会期:4月29日(月・祝)、会場:世界切手まつり スタンプショー2019[東京都立産業貿易センター台東館(台東区)]、聴講者:64名。

(b)テーマ:「皇室切手秘話～平成から新たな時代へ～」、ゲスト:貝淵純子氏。会期:5月1日(水・祝)、会場:世界切手まつり スタンプショー2019[東京都立産業貿易センター台東館(台東区)]、聴講者:44名。

(c)テーマ:「ゆうびんと切手の世界」、ゲスト:中丸ひとみ氏。会期:8月25日(日)、会場:ゆうびんde自由研究・作品コンテスト2019[目白 椿ホール(豊島区)]、聴講者:100名。

(d)テーマ:「東海道五十三次・切手発行完結! +江戸のうんちく道中を語る」、ゲスト:玉木明氏。会期:11月15日(金)、会場:第54回全国切手展JAPEX2019[東京都立産業貿易センター台東館(台東区)]、聴講者:58名。

(e)テーマ:「切手デザイナーズスペシャルトーク」、ゲスト:楠田祐士氏。会期:12月22日(日)、会場:切手の博物館(豊島区)、聴講者:30名。

B. 展覧会の審査員

日本切手フリースタイル・コンテスト2020の審査員として、玉木明氏を招請した。審査日:2020年3月26日(木)、会場:切手の博物館(豊島区)。

C. 年賀はがき面白情報

年賀はがき、年賀状の差出に関心をもってもらうため、2020年用年賀はがきに関する面白情報の提供を受け、JAPEX2019(台東区)及び切手の博物館(豊島区)において展示・公開した。

②分冊百科『世界の切手コレクション』(アシェット・コレクションズ・ジャパン(株)発行、全260巻)の監修及び切手等の図版提供を行った。

③青少年ペンフレンドクラブ(PFC)との周知連携

日本郵便(株)発行の「Letter Park」紙面を利用して、展覧会等の開催周知の連携を図った。

(5) ボランティアの醸成

郵便切手文化に関する理解と関心を高めてボランティア活動への市民参画の促進を図るため、体験情報を発信し、支え合いの輪を広げる仕組み作りを推進した。

①郵趣のための押印講習会(技能認定制度)

押印講習会を9回開催するとともに、押印に関する専門的な知識を技術が優秀と認められた方には、「押印認定書」(1級～3級)を授与した。押印ボランティア登録者:1名(累計3名)、押印認定者:6名(同15名)。

※第30回押印講習会(3月21日)は新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止

②展覧会運営ボランティアの公募

当協会の公式ホームページをはじめ、ボランティア募集を掲載するWEBサイト3社に登録して体験・情報提供を行い、支え合いの輪を広げる仕組み作りを推進した。

A. 4月29日(月・祝)～5月1日(水・祝)開催のスタンプショウ2019に一般ボランティア28名の応募があり、延べ51名が運営ボランティアとして参加した。

B. 11月15日(金)～11月17日(日)開催の第54回全国切手展JAPEX2019に一般ボランティア21名の応募があり、延べ26名が運営ボランティアとして参加した。

(6) 公益活動への支援

様々な主体の参加を通して協働を促進する活動、営利を目的としない自主的・自発的な社会貢献活動である公益活動を担っている団体への支援を行った。

①切手バザール

(一財)水原フィラテリー財団主催の「切手バザール」の開催を支援した。会期:4月13日(土)・14日(日)、6月29日(土)・30日(日)、7月20日(土)・21日(日)、9月21日(土)・22日(日)、10月19日(土)・20日(日)、2020年2月29日(土)・3月1日(日)、延べ7回、会場:いずれも切手の博物館(豊島区)。

②全日本切手展2019(第69回)

全日本切手展実行委員会、(公財)通信文化協会、(一社)全日本郵趣連合共催の「全日本切手展2019」に特別賞を授与した。会期:7月13日(土)～7月15日(月・祝)、会場:すみだ産業会館(墨田区)。

③切手の博物館のクリスマス

(一財)水原フィラテリー財団と共催して、「切手の博物館のクリスマス」を開催した。会期:12月6日(金)～12月25日(水)、会場:切手の博物館(豊島区)。

④第23回目白ロードレース

目白ロードレース実行委員会主催の「第23回目白ロードレース」に協賛した。会期:2020年3月8日(日)、会場:学習院キャンパス周辺。

※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため開催中止

9. 公益事業資金の造成

郵便切手文化の向上発展に資するとともに未来に継承する公益事業資金造成のため、協賛していただける企業・団体の募集、幅広く多くの方々に気軽にご支援いただけるよう、さまざまな形での寄付を募った。

この益金は、広く社会一般に還元する事業のために充当した。

(1) パートナー・サポート企業・団体の募集

スタンプショウ2019に対して17企業・団体(前年度16企業・団体)、ゆうびんde自由研究・作品コンテスト2019に対して8企業・団体(同8企業・団体)、第54回全国切手展JAPEX2019に対して12企業・団体(同13企業・団体)から協賛、協力の支援を得た。

(2) 使用済み切手、書き損じはがきの募集

募集期間:2019年4月1日(月)～2020年3月31日(火)、協賛件数:2,038件(同2,094件)。

(3) 財政安定化寄附金(一般寄附金)

募集期間:2019年4月1日(月)～2020年3月31日(火)、協賛者:5名、1,939,260円(3名、554,100円)。

(4) スタンプショウ2019寄附金(特別寄附金)

募集期間:1月5日(土)～5月1日(水・祝)、特別寄附金:17口(1口3万円)、一般寄附金:370口(1口4,000円)、協賛者:326名、1,993千円(同301名、2,073千円)。

(5) JAPEX2019寄附金(特別寄附金)

募集期間:7月2日(火)～11月17日(日)、特別寄附金:31口(1口3万円)、一般寄附金:532口(1口4,000円)、協賛者:465名、3,120千円(同477名、3,066千円)。

II 管理部門

1. 会員事業

情報提供サービスの充実と会員のサポートが図れるような施策を実施し、そのメリットを高めていくことにより、会員の維持・拡大を図った。

(1) 会員の維持・拡大

当協会の事業内容の紹介活動を積極的に行うとともに、新規会員獲得に向けたキャンペーン活動を強化する。また退会防止に向けて、魅力ある会員サービスを積極的に提供した。

①春の入会キャンペーン、秋の入会キャンペーン

A. 4月29日(月・祝)～5月1日(水・祝)開催のスタンプショウ2019において、「スタンプショウ2019来場者促進&春の入会キャンペーン」を実施した。入会者:13名。

B. 11月15日(金)～11月17日(日)開催の第54回全国切手展JAPEX2019において、「JAPEX2019来場者促進&秋の入会キャンペーン」を実施した。入会者:7名。

②地方本部主催の展覧会等における会員増強活動

A. 6月8日(土)・9日(日)開催の東北郵趣大会2019in郡山において、上位会員への移籍キャンペーンを実施した。移籍者:4名。

B. 9月21日(土)・22日(日)開催の全国郵趣大会2019in大阪において、上位会員への移籍キャンペーンを実施した。移籍者:4名。

C. 10月5日(土)・6日(日)開催のスタンプショウかごしま2019において、上位会員への移籍キャンペーンを実施した。移籍者:1名。

③会費自動引き落としキャンペーン

2019年11月～12月の2カ月間、「口座振替登録キャンペーン」を行い、「預金口座振替依頼書」を郵便振替利用の会員に送付して、口座振替登録を促進した。利用申込者:115名。

④『郵趣研究』新規購読キャンペーン

クレジットカードによる購読申込キャンペーンを2020年3月～5月の3カ月間、実施。利用申込者:16名。

⑤『正会員会報』月刊/12回発行

⑥「郵趣手帳 (Philatelic Diary) 2020-2021」を作成し、維持会員及び正会員に無償配布した。

⑦キャッシュレス決済

10月1日の消費税率引き上げに伴い、需要平準化及びキャッシュレス対応による会員の利便性向上を図るため、クレジットカード、QRコード等によるキャッシュレス決済の準備を推進した。

(2) 会員情報管理システムの整備

会員情報を組織的に適正に管理してデータの円滑な利活用を行うため、会員情報管理システムを整備するとともに、事務の簡素化・効率化及び情報提供サービスの高度化を推進した。

2. 交流事業

心豊かな潤いのある社会創造の理念に基づき、会員相互の交流と親睦を深めるとともに、郵便切手文化を国民の資源として共有・活用できる基盤作りを図った。

(1) 新春交歓会

①大阪・新春交歓会2020

会期:2019年1月13日(月・祝)、会場:ホテルグランヴィア大阪(大阪市)、参加者:47名(前年度51名)。

②東京・新春交歓会2020

会期:2020年1月18日(土)、会場:リュド・ヴィンテージ目白(豊島区)、参加者:75名(同67名)。

(2) 地方本部主催の郵趣大会

①東北郵趣大会2019in郡山(第29回)

会期:6月8日(土)・9日(日)、会場:磐梯熱海温泉・清稜山倶楽部(福島県郡山市)、参加者:49名(前年度40名)、主催:北海道・東北地方本部

②関東郵趣大会2019in湘南(第35回)

会期:6月29日(土)、会場:藤沢市民会館(神奈川県藤沢市)、参加者:88名(同109名)、主催:関東地方本部

(3) コミュニティ通貨「フィラ」

お金では表せない「善意」を交換するコミュニティ通貨「フィラ」の普及拡大と流通促進により、ボランティア活動の活性化を図るとともに、郵便切手文化サービスの循環によって生き生きとした心豊かな社会を実現した。発行数:33,451枚、流通数:1,102枚(流通率3.3%)。

2019年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

2020年6月

公益財団法人 日本郵趣協会